

賞金
100万円
&出版化
※一般部門

第6回

京都文学賞 作品募集

読者選考委員も大募集！

求む！

「京都」を題材とした長編小説。

純文学、歴史、ミステリー、

SF等 ジャンルは不問

京都のまちは、
どんな物語も受け入れる

応募締切

～2027.5.10^①

※読者選考委員は2027.1.29^②まで

KYOTO LITERATURE AWARD

修学旅行で訪ねた神社仏閣、お店に並んだ彩り豊かな和菓子、時代劇に映し出された街並み、SNSに流れてくる四季折々の美しい風景—誰もが人生のどこかで「京都」と関わり、それぞれの思い出を抱いていることでしょうか。しかし、そのイメージはどこか、「古き良き伝統のまち」のままに足踏みしていないでしょうか。平安絵巻に描かれた人々も、現代を生きる私たちも、このまちで暮らす人々が泣き笑い、今この瞬間も歴史を積み重ねています。一歩踏み出してあなただけの視線で見つめ直せば、京都の違う横顔が見えてくるかもしれません。

京都文学賞では、既存のイメージを鮮やかに描き直す小説作品を募集します。これまでの受賞作は、『羅城門に啼く』『屋根の上のおばあちゃん』（第一回）、『鴨川ランナー』（第二回）、『ピポウ六』『ちとせ』（第三回）、『危険球』『今日も私は、ひとつの菓子を』（第四回）として、続々出版され、一味違った京都の物語を世に送り出しています。

あなたも、このまちを舞台に、まだ誰も読んだことのない物語を紡いでみませんか。

京都文学賞

Kyoto Literature Award



作品募集

「京都」を題材とする長編小説を募集 ※ジャンルは問いません。

応募締切：2027年5月10日(月) 20時まで

| 部門 | 応募資格 | 作品分量 | 賞の内容 | |
|-----|-------------------------------------|-----------------|--------------------------------------|----------------------------|
| 一般 | 年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募可。 | 28,000~160,000字 | 最優秀賞1点：賞金100万円、出版化 優秀賞1点：賞金50万円 | (共通) 読者選考委員賞 1点：副賞なし |
| 中高生 | 2008年4月2日以降に生まれた方 | 8,000~60,000字 | 最優秀賞1点：図書カード10万円分 優秀賞1点：図書カード5万円分 | |
| 海外 | 留学生をはじめ外国籍を有する方 | 8,000~60,000字 | 最優秀賞1点：賞金10万円 | |

【応募方法】 京都文学賞ホームページの応募フォームまたは郵送のいずれかとします。

【結果発表】 一次選考結果（2027年7月下旬頃）→二次選考結果（2027年9月下旬頃）
 →最終選考結果（2027年12月～2028年1月頃）→表彰式（2028年1月予定）

読者選考委員募集

京都文学賞の応募作品を審査基準に沿って選考。感想を記述していただく方を募集

応募締切：2027年1月29日(金) 20時まで

- 【募集人員】 10名程度（予定）
- 【応募方法】 京都文学賞ホームページの応募フォームまたは郵送のいずれかとします。
- 【結果通知】 2027年3月頃に本人に通知します。
- 【謝礼】 選考作品40,000字までにつき500円分の図書カード（1作品上限2,000円）
- 【特典】 京都文学賞表彰式へのオンライン招待、受賞作の刊行本プレゼント（予定）

| 選考時期 | 選考作品数等 |
|-----------------|---|
| 2027年7月下旬～9月上旬 | 二次選考 <全員> 一次選考通過作品 ※のうち1人10~15作程度を評価 ※一次選考は、書評家など専門家により実施します。 |
| 2027年9月下旬～11月上旬 | 読者選考委員賞選考 <全員> 二次選考通過作品10作程度を評価し、読者選考委員賞を決定 |
| 2027年9月下旬～11月下旬 | 最終選考 <一部の読者選考委員（主催者において数名を選定）> 最終選考委員とともに二次選考通過作品10作程度を評価し、最優秀賞・優秀賞を決定 |

※作品募集及び、読者選考委員募集ともに、必ずホームページに記載の募集要項をご確認のうえご応募ください。

最終選考委員から

◎いしいしんじ（作家）



これまで、さまざまな作品が寄せられてきました。職人の葛藤、野球に懸けた青春、映画への情熱、外国人の彷徨、平安貴族の恋、幕末の志士たちの声、大学生の与太話…すべてをうけとめる、希有な場が京都です。今回はどんな物語が、この街をいざぐるのでしょうか。

1994年『アムステルダム犬の犬』でデビュー。『麦ふみくつ』(坪田譲治文学賞)、『ある一日』(織田作之助賞)、『悪声』(河合隼雄物語賞)、『チェロ湖』(芸術選奨文部科学大臣賞受賞)など著作多数。25年『先生の庭』、26年『人生不案内』刊行。

◎澤田瞳子（作家）



撮影 / 富本良之

京都は昔も今も、多くの人々を惹き付け続けるエネルギー溢れる地です。古いものも新しいものも、理知的なものも不思議なものも、すべてが違和感なく溶け合う町の新しい断面が、「京都文学賞」で読み手・書き手双方に提示されることを心より願います。

2010年『孤鷹の天』(中山義秀文学賞)でデビュー。『満つる月の如し 仏師・定朝』(本屋が選ぶ時代小説大賞・新田次郎文学賞)、『若冲』(直木三十五賞候補他)、『星落ちて、なお』(直木三十五賞)など著作多数。26年『春かずら』、『金波銀波』刊行。

◎藤野可織（作家）



©藤山祐子 / anan

小説を書くということは、これまで知られていなかったこと、気づかれなかったこと、見過ごされてきたこと、見捨てられてきたことに新しい名前をつける仕事だと思っています。この土地にずっと住んでいる者として、予想もしなかった京都を見せてもらえるのを楽しみにしています。

2006年「いやしい鳥」でデビュー。『爪と目』(芥川龍之介賞)、『おはなしして子ちゃん』(フラウ文芸大賞)など著作多数。26年『ざんいろせいじんのやくそく』、『どんないえ?』刊行。